

令和3年 第3回定例会

以下の5項目について、一般質問しましたので、主な内容を報告します。

1) 水道管路の管理について

去る10月3日、**和歌山市の水管橋が突然崩落**し、基幹管路であったことから、**市民に大きな影響**を与えました。今回の事故では、**目視点検では異常は無かった**としているものの、**つり材の破断を見抜ける体制になかった**ことも指摘されています。つり材の腐食進行は、盲点だったと感じますので、**この教訓を活かし、適切な管理と基幹管路の老朽化対策**もしっかりと進めるよう、要望しました。

また、崩落した水道管は、市域に水を供給する唯一のルートであり、**複線化出来ていなかった**ことにより、市全体の約4割にあたる**約6万世帯が断水**に見舞われました。本市は複線化などのリスク対策は出来ているのか？**危惧**されますが、**リスク対策も含め、しっかりと管理**するよう、要望しました。



2) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校の対応について

緊急事態宣言が明けてから、1ヶ月が経とうとしています。**感染不安により、登校出来ない児童生徒が存在**する中、オンライン授業においては、保護者の方々より、**各学校間で対応の差**があり、また、**その対応を知らない家庭も多い**と聞いています。ご答弁によりますと、文書配布などで周知しているとのことですが、実際には、積極的に周知を図る学校と、問い合わせ初めてオンライン授業の対応を知る学校に分かれている為、**学校間での格差を無くすべく、統一した対応を要望**しました。



また、保護者の方々が独自で実施したアンケート結果によりますと、状況に応じて**オンライン授業を希望する割合が9割**を占めます。当然のことながら、**対面授業が重要**であると認識していますが、第6波などの**緊急時に備え、体制を整える**必要があると考えます。平常時よりオンライン授業や、対面授業とを組み合わせる**ハイブリット型授業を取り入れる**など、緊急時にスムーズに移行出来るよう、備えることを要望しました。

3) 市民の健康づくりについて

本市が推奨する**健康マイレージ**は、市民が**楽しみながら気軽に健康づくりに取り組める**もので、事業開始から今年で3年となりますが、**健康寿命の延伸**については、**若いうちからの生活習慣の改善**が、後々の疾患予防になるものと考えます。とは言え、4～50代で健康づくりに**取り組む意識がなかなか働かない**のが現状と捉えています。ご答弁によりますと、**40代から60代と同等のフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）が認められる**とのことで、益々、若年層や無関心層への**具体的なアプローチが必要**と考えます。

以前より提言している様に、**インセンティブ（動機付け）が無関心層において、健康づくりに取り組む行動変容**を促す役割を果たしてくれると考えます。これらかも気軽に、楽しく、健康づくりに取り組めるよう、工夫しながら進めるよう、要望しました。



4) 摂津ブランドの更なる構築について

本市のブランドの一つとして、「**摂津すぐれもん**」が挙げられますが、先日、**新たに5商品が認定**されました。東大阪ブランドは、国内での「**オンリーワン製品**」、トップシェアの「**ナンバーワン製品**」などをブランドとして認定しています。本市は、これまで一般消費者向けばかりでしたが、**企業向け商品にもスポットを当てるべき**と考えます。

また、本市では「**なにわの伝統野菜**」として、唯一、**鳥飼ナスが認定**されており、産業の観点で言いますと、前述のすぐれもんや、鳥飼ナスがブランディングにあたります。**ブランディング**は行政だけではなく、**市民の方々や、企業や団体と一緒に創っていく**ものであり、色んな観点から**新しいブランドを作り上げるべき**と考えます。様々な角度から本市の強みを見極め、市内外にもっと広くPRして、摂津の魅力を高めなければなりません。もっと**新しい価値、すなわち、摂津ブランドを更に構築**し、その魅力を発信して行くことを要望しました。



5) 鳥飼地域のまちづくりについて

鳥飼地域に関しては、毎回取り上げていますが、**答申まで半年を切る中、鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会の議事録を見る限り、具体的な議論まで至っていない**様に感じます。その理由として、昨年度の素案が詰め切れないまま本年度を迎え、**素案作成と策定委員会を同時並行的に実施**していることが要因の一つと考えています。

中長期的な観点から考えますと、**グランドデザインが答申されてこそ、新たな鳥飼まちづくりのスタート地点に立つ**と認識しています。グランドデザインに位置付けられる取り組みは、各所管課において具現化されることとなりますが、この状況では、**難しい**と考えます。一方、**まちづくりは、市民・企業の参画が重要**であり、その仕組みについても、早期に構築する必要があると考えます。

このグランドデザインにおいて掲げる安全安心を基軸としたまちづくりの展開を図る上で、「**河川防災ステーション**」の整備促進は、重要な取り組みであり、**鳥飼まちづくりの一つの核**となるものです。**魅力ある鳥飼まちづくりの具現化に向けて、夢を語り、長期的な視点に立ってあるべき姿を描く**よう、要望しました。

